

東白川

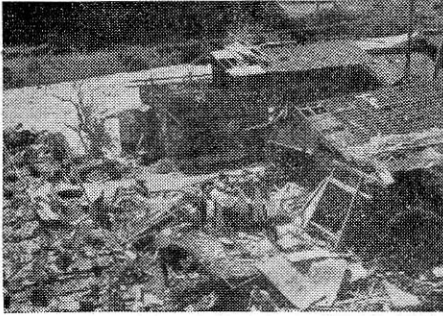
発行所 岐阜県加茂郡白川村公民館
印刷所 今井印刷

第二室戸台風

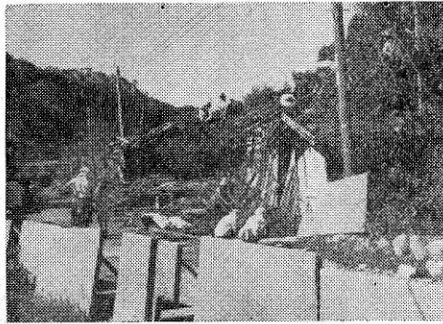
本村を激襲!

復旧に全力注ぐ

九月十六日午後、紀伊水道を通り中部地方一帯をその圏内に入れた第二室戸台風(十八号)は、愛知、三重をはじめ本県各地に甚大な被害を与え、一昨午九月二十六日の超大型伊勢湾台風に次ぐ大きなツメ跡を残し北へ去った。本村でも午後二時頃よりその余波をうけ、同五時頃には瞬間風速四〇米前後の暴風雨にさらされ、家屋の倒壊、田畑の冠水、送電線の切断、倒木等相ついで被害が発生した。県では即日、本村に災害救助法を発動し、救助物資の配布をはじめ連日その復旧作業に全力が注がれている。



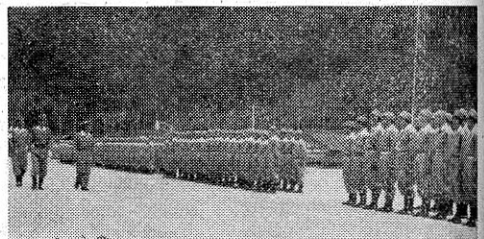
(写真は無惨にこわされた全壊家屋)



(ズブぬれになった畳を乾しながら屋根修理をする人達)

昭和三十六年度知事表彰団、農法、訓練、実録、影審査の第一次書類審査を 図上作戦、分別、学科等通過した東白川消防団の審査科目を約四時間余に亘つてうけ(伊藤治雄団長以下二三六名)は第二次審査を去る十二日午前九時から神戸小学校々庭においてうけた。当日は、県審査官の厳密な審査に日頃の訓練ぶりを発揮。新調されたグレイの消防服に身をかため新消防基準による集合、関

知事旗表彰審査終る
東白川消防団
(写真は東白川消防団を閲団する河田村長)



郡町村役場職員「運動会」終る
スポーツの秋を迎え、郡内町村職員間の親睦を図るという目的のもとに、去る九月十七日行われる予定だった加茂郡町村職員運動会が、第二室戸台風により延期されていましたが、去る十五日(日曜日)七カ町村から四〇〇名の職員が神戸小学校々庭に集り、日頃の職務を忘れスポーツとレクリエーションに楽しい一日をすごしました。

「恐怖の一日」の明けた翌十七日は、嘘のような秋晴れとなり、全かい家屋の惨状は余りにも痛々しく朝陽に光つていた。本村では、直ちに災害対策本部を設け、これらの災害調査を行うと共に、二十七日には臨時村議会が招集され、災害に対する多額の追加予算が可決された。

をこらむり、総額四千万円を超える被害をうけた。被害状況は次のとおり。
水稲 二〇〇町歩
桑 四五町歩

畑 一〇〇町歩
立木 五、〇〇〇石
全かい家屋 八戸
半々 七七戸
その他被害建物六三戸

全国一せい学力調査 10月26日に実施

幸い、先の伊勢湾台風で大きな教訓を得、防備に各家庭が万全を期したため、人畜に被害はなく最少限に喰い止めたもの、全壊八戸、半壊七十七戸をはじめ納屋、便所を壊されたもの、屋根瓦や壁などを破損したものの等広範囲にわたり被害

きたる十月二十六日、中とに実施されるもので、昭和三十一年以来、小中高校を対象として全国一せい学力調査が実施されることになりました。

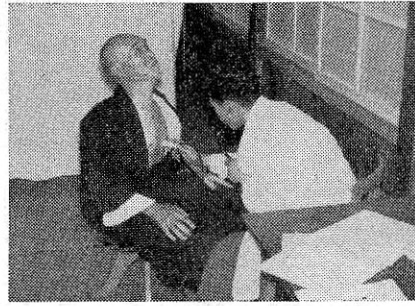
この調査は、義務教育の最終段階にある青少年の学力の実態をとらえ、今後の教育指導、学力の向上等に役立てようという意図のも

教育委員会では、この調査の実施について関係者はもとより、広く一般の方々がこの調査の趣旨を理解され円滑に実施されるよう協力方を望んでいます。実施方法は次のとおりです。
一、調査の対象 全国の公立、私立及び国立の中学校の第二、三年の全生徒。
二、調査する教科 第二学年、第三学年とも国語、社会、数学、理科英語の五教科でペーパーテストによる。
三、実施期日 十月二十六日(木)で全国一せいに午前九時から午後三時までの間に行われ、一教科五十分づつで行われる。

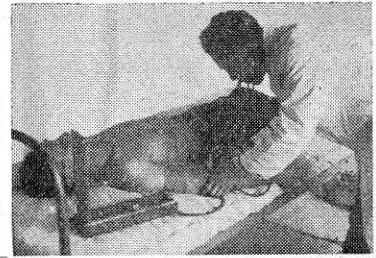
成人病予防対策によせて

東白川村長 河田勘市

本村は「健康なる村民に目標に村の重点施策の一つよる健康なる村づくり」として保健衛生をとりあげ



十年一貫村民の健康管理と保健衛生の改善向上に意を用い、その目的達成のため年々多額の村費を計上し村民の保健衛生の向上に努めてきた。国民健康保険の発足と共に直営病院を設け医療と予防医学の並行をはかり、教育目標に



写真は血圧測定をしているところ

も示して村と病院と学校三者一体保健衛生の実をあげてきたのである。教育基本法に教育の目的として、心身共に健康な国民の育成を期して行くとあり、岐阜医科大学不破博士

苦節十年!!

河田村長に大臣賞

「明るい健康な村づくり」をモットーに、昭和二十六年村長就任以来、終始一貫公衆衛生事業に献身的な努力を傾けた河田村長が、その功績を認められ、去る十二日、東京の社会事業会館で開かれた全国公衆衛生大会で晴れの厚生大臣表彰を受けました。



【問】 保険料の申請免除の場合、被保険者から申請書を提出した前の基準月から免除されることを聞きまして、申請すれば当然に免除される被保険者が申請を怠り滞納して後日申請した場合、さかのぼって免除することができ

【答】 法の規定によつて、被保険者の保険料申請免除は、申請のあった月の属する月前の真近の基準月（一月、四月、七月、十月）から免除されることになっており、さかのぼって免除することはできません。かりに今月免除申請書を提出する場合六月分までの保険料が納付されていなければなりません。又来月になりますと九月分までの納付が必要です。

（神土村雲生）
（国民年金係）

を招聘してすでに五カ年にわたる結核予防管理をはじめとして歯および眼の治療に全力を注ぎ、日本脳炎をはじめ各種予防接種は定期これを実施し専ら学童生徒の健康保持に努め、併せて完全給食により最近特に体位向上したるは誠に喜ばしい次第である。又幼児の健康診断ならびに予防接種は勿論、村民一般検診、薬剤購入によつて婦人会協力による村内一斉清掃消毒等各般にわたつて公衆衛生環境衛生の向上を図り、本村の保健衛生その実あがり十九年漸く軌道に乗つた感がある人間への投資

も大切であるが一番大切な人間への投資が忘れ勝ではなからうか。人生最大の幸福は何といつても健康で我々はこの短い人生を健康で暮らしたいものである。本村はさきに成人病予防対策を発表し実施したるも従来の方法ではあき足らず愈々積極的に着手した。その内容も規模の小さい「人間ドック」であつて早期発見、早期治療によつて高血圧、心臓病、脳卒中等成人病を未然に防ぎ村民各々の健康を保持し円満なる村づくりに村民各位の協力を望む次第である。

▼成人病予防対策実施要項
一、東白川病院担任者として名古屋医科大学青山内科より専任医師を招聘し一切之に當る。
一、本検診は四十才以上を対象とする。
一、検診科目は体重、検尿、血圧測定、心電図、胃カメラ、血液型、一般診断
一、本検診は村費負担とする。
一、検診の結果ならびに医師の所見を健康手帳に記載して本人に交付し、健康管理台帳は病院に保管する。
一、検診は検診票を交付し郵路に出張票を必要に



（健康診断記録表を手にとり）
（良く検診を待つ人たち）

10月1日～31日 「赤い羽根」運動



「たすけあい」
みんなしあわせに

毎年この十月一杯を、国民たすけあい共同募金運動の月間として全国的に赤い羽根募金が行われていきますが、本村でも今年目標額六万零千四百円完遂のため目下運動を展開中で近く皆様に協力願う目標額をお知らせしますので数多くの気の毒な人たちのため特別のご協力とご同情をお願いします。

尙募金された金の、主な配分先は、町や村の福祉のために、めぐまれない子のために、生活に困つてい

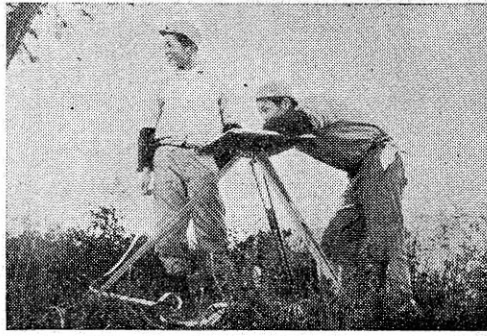
戦時加算恩給
扶助料の請求を早く！
恩給法の一部改正によつて復活する旧軍人等の恩給受給者で既に死亡している者の扶助料の請求は本年中にしなくてはなりませんので該当者の遺族は至急申出されるよう。

農繁期の睡眠は充分に

合計	一七二七人
一、	八二〇
二、	七〇〇
三、	二六七人
四、	四七六
五、	三九五
六、	二六七
七、	七〇〇
八、	七〇〇
九、	七〇〇
十、	七〇〇
十一、	七〇〇
十二、	七〇〇
十三、	七〇〇
十四、	七〇〇
十五、	七〇〇
十六、	七〇〇
十七、	七〇〇
十八、	七〇〇
十九、	七〇〇
二十、	七〇〇

働く青年の育成 も「青年建設班」を計画中

新しい考え方と実践力を
持った青年——。それは
旧い世代と現代を上手に
取り合せて経営することの
ように人づくりがとり上げ
られ、有為な青年
育成に大きなウエ
イトをかけている
ことが強調されて
おり、目下本村の
みならず、各地で
の村づくり、町づ
くりを押し進める
ための当面した急
務であると云えよ
う。



できる思考力と実践力を具
備した青年々と云えないだ
ろうか。
新しい機械文化が如何に
進んでも、例えボタン一つ
で何不自由ない生活ができ
たとしても、それは決して
新しい文化程度の高い村づ
くりとは云えない。精神文
化と機械文化とがマッチし
てこそはじめてそこに「新
農村建設」が成るのでな
からうか。

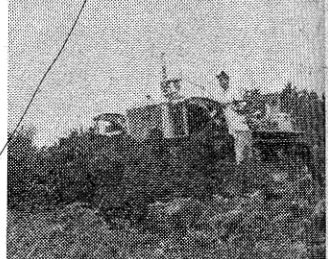
各地で進められている新
しい村づくり運動に目を投
じて見るとき、申し合せた
ように人づくりがとり上げ
られ、有為な青年
育成に大きなウエ
イトをかけている
ことが強調されて
おり、目下本村の
みならず、各地で
の村づくり、町づ
くりを押し進める
ための当面した急
務であると云えよ
う。

今年も、次代を
背負って立つこ
うした新しい考
えを持ち、積極
的に
事や成し遂げて行こうとい
う意欲ある青年の育成を
意図のもとに、昨年に行
続いた青年建設班の設置が
農村振興計画と並行して真
剣に考えられ検討されてお
ります。目下これらの計画
については、実施主体の村
当局および関係者の間で進
められており、実施される
際には青年達の積極的な参
加と一般家庭の深い理解と
建設班のあらまし
一、方針
青年が郷土愛に燃え、郷
土の建設を目指して共同
精神の体得、知識技能の
習得および実践力を養い
青年の将来の自立ならび
に郷土建設に寄与しよう
とするものである。
二、性格
(1)班は民主主義のルールに
より自治運営し、その体
験の習練を通じ高い自治
能力を養う。
(2)勤労収入で自活し、共同
生活と規律訓練を通じて
健全な生活態度を養う。
(3)物心両面から郷土の振興
方策と、各自の自立安定
方策の究明、それを実現
するに必要な教養と知識
を研修習得する。
三、編成および運営
班編成はおおむね二十名
を単位とし、一定期間(二
九月)合宿生活を営むも
ので、その運営は青年の
自発的意図のもとに勤労
学習、生活が有機的の一
体的に行われるよう運営す
る。
四、作業
作業は郷土振興のための
公共事業に従事し、正当
な賃金が支払われる。

五、学習
郷土の現状を究明把握
しそれに基いて将来の
振興目標をたてる等の
学習時間は、一週十二
時間以上とする。
六、生活
班員は、期間中公共施
設(公民館など)や研
修キャンプを使用し、
合宿による共同生活を
通じ、健全なる生活態
度、自治能力を養うもの
とし、規律ある団体生
活を営む。

今年もブル来たる！ 新農村建設事業

昨年の
茶園開墾
(五町)
に引き続き
ブル
トローザ
ーによる農
地造成を
行うこと
になりました。
農業基
本法など
で説明する
でもなくこ
れからの農
業は、企業
化を目標に
しなければ
ならないわ
けですが特
に本村の農
業振興の中
心である茶
園と養蚕
については
、ともに茶
園又養蚕を
集団化して
共同経営を
営むことが
必要です。



水稲品種の統一を 品種統一研究会で選択

農家の皆さん、今年の稲
作栽培も収穫に入り、毎日
お忙しい事とお察し申上げ
ます。今年は災害続きで豊
作も懸念されていますが、
天災に対する栽培技術の改
善が叫ばれ早期栽培、品種
の選択によつて克服できる
点が多く、又今後の稲作経
営は自由販売を前提とし、
量生産から品質、食味良い
即ちうまい米を生産するこ
とが第一条件となる。品種
の統一はうまい品種を数種
類に統一しまとまった米を
販売すること、又栽培につ
いても労力の節減上、苗代
の作り、田植、施肥、共同
防除、收穫、脱穀調整等、
生産費の切下げによつて安
い米を作ることが商品作物
の栽培上大切なことである
先般、品種統一研究会を
開催し、昭和三十七年度東
白川村水稲品種は次のとお
り選びました。
早生Ⅱのりくら 中生Ⅱ
若葉四号、同三号、北陸五
二号、中生金南風 晩生Ⅱ
新金南風、東山三八号、中
生新千本 普及品種として
豊年早生、ヤマビコ、初穂
波、泉モチ、平和モチ、鈴
す。

このようなことから今
年度は村内で茶園約三町五
反、茶園二町を開墾するこ
とになったわけです。
ブルトローザーはすでに去
る十月四日日本村に到着し、
大明神共同茶園から開墾を
はじめています。これらの
共同茶園や茶園が完成する
と本村にもいよいよ農地の
集団化による共同経営が根
をのりし、新しい農業を育
て、行くことになるでしょ
う。

大明神	桑園	八反
榎山	〃	一反
上親田	〃	三反
神付(一)	〃	一〇反
神付(二)	〃	一〇反
蔭地	茶園	四反
上親田	〃	七反
中通	〃	三反
その他	〃	〃

まめニュース

九月以降の快晴続きと、
台風の影響をうけ、今年の
松たけの出荷は極めて少な
く、昨年の約一割程度で十
五日現在一〇〇匁、七、八
百匁の高値をよんでおりま
す。

水稲肥料の選定について
も、過去二カ年愛用されて
きた東白川水稲複合肥料は
来年から取扱いを中止しこ
れに代る塩加燐安一号を基
準肥料とし、化成八号、尿
素化成十号、同苦土入三〇
号等を選定していただきま
したので、今秋施肥設計資
料を作成し各農家に計画注
文をおねがいする予定です
何分各位の御協力をおねが
いします。
(農協指導部)

追加480万円 一般会計

災害救助、成人病対策費など

村議会

り可決されました。当日上程された追加予算は次のとおり。(歳入)

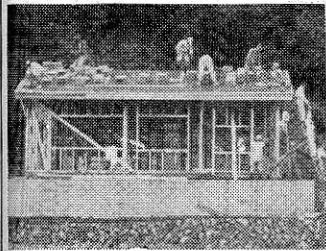
地方交付税	一、〇〇、〇〇〇円
財産売却代	二、九〇、〇〇〇円
国庫補助金	一、五〇、〇〇〇円
県支出金	六〇、〇〇〇円
雑収入	三〇、〇〇〇円
合計	四、八〇、〇〇〇円
(歳出)	
議会費	五、八七〇円
本年度追加予算他	三〇、三〇〇円
教育費	二九、三〇〇円
災害補助費	六六、〇〇〇円
伝染病予防費	三三、三〇〇円
成人病予防対策費	三六、〇〇〇円
産業経済費	二、六〇、〇〇〇円
基本財産造成費	三三、〇〇〇円
諸支出金	三〇、〇〇〇円
合計	四、八〇、〇〇〇円

建設工事は順調 月末完成めざす

有線放送電話建設工事は着工以来順調に進んでおり十月十五日現在の工事進捗状況をお知らせしますと次の通りです。

(有線本部)

一、建柱工事
九月二十日大沢より穴掘り建込みを開始し、五加全部落と大口、加舎尾、平下西洞、神付、中通上までを



建物は、伊藤木工所請負により木造平屋建一七坪を去る十日に建前を行い、十月末の完成を目標に仕上げ工事を急いでいます。

このバスは、当分の間毎日四往復の運行ですが、今

終り、従つて本部より西廻り回線柱は全部完了、引続いて平上、親田、中通下から越原方面に入り、十月末までには全部の建柱を完了の予定。

かねてより計画のあつたに不便だつた付知大明神一付知間(約十一キロ)の定期バスの乗り入

大明神付知間バス開通成る

入達の苦勞が一段より強く要望され、濃飛バスとの間で具体的な交渉がなされておりましたが、この同時の程運転許可もあり、去る十月十日晴れの第一号車がエンジンの音も軽く本村大明神側から付知町へ越えて一役かゝりやります。



危険(狩猟解禁) インスタントハンターめ またおた

スポーツの秋を迎え、村内球技同好者の要望にこたえ「第3回村民親睦球技大会」を開催しますので奮つてご参加下さい。

【とき】 11月3日(文化の日) 野球予選
11月5日(日曜日) 卓球、野球準決勝、決勝
【ところ】 神土小学校々庭および講堂
△参加申込み 体協指定用紙を用いて28日までに申込みこと(用紙は教委事務局にあります)
△試合 抽せんの上、トーナメント方式で行う。

第3回 村民親睦球技大会

(細部は主将会議で決定する。卓球については試合当日細部を説明する)

△表彰 野球の部—優勝チームには、体協より賞状および優勝旗、優勝杯(くろいぬや寄贈)二位には賞状、楯、また個人賞として、最優秀選手賞、ホームラン賞など贈る。卓球の部—一般男子、青年男子、女子の三部とし、いづれも三位までとする一位には賞状、優勝楯、二位以下は賞状および賞品を贈る。

主催 東白川村体育協会
後援 東白川村・東白川村教育委員会
東白川村青年団

晩秋蚕

九、〇五〇キロ

まずの出来

晩秋蚕の飼育は、早バツによる平年を下廻る桑樹の成育と、壮蚕期に第二室戸合風の害に襲われ、多收穫近代桑園の全めつ等三〇〇グラムを掃立してその飼育が注目されていきましたが養蚕農家と農協とが一体となり、これを克服去る九月三日から五日までの間に各地区毎に繭の受渡しが行なわれ、去年より六パーセントの増産をみました。地区毎の收購量は次のとおりでした。
神土 四、四一八・二キロ
越原 三、〇九九・三キロ

五加一、五三〇・〇キロ
合計 九、〇四七・五キロ
尚、本年の繭総生産量は、三〇、〇〇〇キロ(八、〇〇〇キロ)となります。

心掛け一つで 防止できる事故

交通事故をなくすることは、車を運転する者ばかりでなく皆んなの願いです。ところが、町に村に恐ろしいスピードで歩行者の間をぬつて歩くカミナリ族、マツハ族の姿が後をたちません。

交通事故は、その人の心がけによつてその大半を防ぐことができます。特にオートバイに乗る人はスピードに充分注意し、悲しい事故を防ぎましょう。

(編集室)

広報東白川の編集室では、広く村民の皆さんの、明るい村づくりのための建設的なご意見を募集いたしております。

またニュース写真や、いろいろの行事、季節の写真などもどしどしお送り下さ